

初歩からはじめるJavaプログラマー養成科(eラーニングA)

訓練コース番号	5-07-14-002-02-0063	訓練コース・分野	実践コース・IT分野
訓練実施施設名	パソコンスクールアビバ 横浜校		
募集期間「令和7年4月25日（金） ～ 令和7年5月20日（火）」			
≪ 申込み方法等につきましては裏面参照。≫			
【訓練の実施方法】 eラーニング、オンライン（通所不要） ※1週間に1回オンラインによる対面指導あり 主にオンデマンド方式（録画された映像等を任意のタイミングで視聴する方法）で受講します。 関連性のある内容で受講に1週間程度要する分量がそれぞれ「ユニット」として設定されています。 各「ユニット」の受講修了ごとに習得度確認テストを行います。「習得度確認テスト」の正答率が3回連続で8割未満となった場合は、理由を問わず退校処分となります。			
【訓練の目標】 ソフトウェアプログラマーとしてJavaを用いてアプリケーションの制作・運用の基本作業ができるようになる。			
就職支援の内容等			
Javaは転職やフリーランスにおいても、求人数が最も多い言語。幅広い用途に適用され、Web開発からシステム開発、スマートフォンアプリ開発まで様々な分野で利用されています。この訓練科では次の学習を進めていきます。			
①開発環境構築 ご自宅のパソコンでプログラミング開発ができるように環境を設定していきます。			
②Java基本文法 Javaの基本的な文法（変数、データ型、演算子）から標準API、分岐処理、繰り返し処理、配列等を学習します。			
③オブジェクト指向 オブジェクト指向とは、ブロックで遊ぶようなものです。ブロックはそれぞれ異なる形や色をしていて、それらを組み合わせて車や家などを作ります。プログラミングで言う「オブジェクト」とは、それぞれのブロックのようなもので、これらを組み合わせて大きなプログラムを作り上げます。この方法でコードを組むと、見通しが良くなり、修正や追加もしやすくなります。			
④デバッグ デバッグとは、迷路で間違った道を選んでしまった時に、どこで間違えたのかを見つけ出して正しい道に戻ることに似ています。プログラムが期待通りに動かない時、デバッグを通して「コードのどの部分に問題があるのか」を見つけ出し、修正します。			
⑤Webアプリケーション Webアプリケーションの開発は、自分だけのレストランを開くようなものです。メニュー（機能やコンテンツ）を考え、キッチン（サーバー側の処理）で料理を作り、お客さん（ユーザー）に提供します。お客さんが楽しく過ごせるように、使いやすいメニュー表（ユーザーインターフェース）を作ります。			
⑥フレームワーク フレームワークのSpringBootは、あらかじめ用意されたレシピブックのようなものです。これを使うと、複雑な料理（アプリケーション）でも、基本的な部分はすでに用意されているため、細部の調整や追加をするだけで済みます。結果的に、時間を節約しながらもおいしい料理（機能的なアプリ）を作ることができます。			
※DX推進スキル標準対応の訓練です。 ※受講希望者は選考日の前日までにeラーニングコースの受講にあたっての誓約書を提出する必要があります。 提出できなかったり、提出しない場合は選考を受けることができません。			

【訓練期間】

令和7年6月19日(木) ～ 令和7年9月18日(木)

※対面指導は毎週火曜日にあります。

【訓練内容】※ 訓練内容の詳細につきましては、説明会（裏面参照）などでご確認ください。

学 科	Java環境設定概論、安全衛生、就職支援、成績考査	12 時間
実 技	Javaプログラミング演習、Webアプリケーション基本設計演習、他	243 時間
そ の 他	職業人講話	6 時間
合 計		261 時間

自己負担額(税込み)	
教科書代	その他の自己負担額と内訳
0円	通信費は実費
	パソコン・モバイルルーター等の貸与なし

☆気になるコースの説明を聞くことができます。☆

説明会	随時オンラインにて開催 事前予約はこちらから➡ 		
訓練実施機関名	株式会社リンクアカデミー	訓練実施施設名	パソコンスクールアビバ 横浜校
訓練実施施設の住所	〒 220-0004		
	神奈川県横浜市西区北幸1丁目2-13 横浜西共同ビル6F		
お問い合わせ先	電話番号 0120-871-170	受付時間	10:00 ~ 19:00
	担当 矢島		

☆申込み方法等☆

受講者募集期間	令和7年4月25日(金) ~ 令和7年5月20日(火)
定員	8名 (受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります。)
訓練対象者の条件	①育児・介護中の者、②居住地域に訓練実施機関がない者、③在職中の者等、訓練の受講に あたり特に配慮を必要とする者、④自宅にパソコン等の情報通信機器を備え、通信費の負担を できる者、パソコンの基本操作(文字入力・キーボード操作)ができる者
必要なパソコンスキル	基本的な操作(文字入力、キーボード操作)
必要な機器・設備 推奨環境 等	必要機材: パソコン、通信機器 OS: Microsoft Windows 10以降 CPU: Intel i5程度 メモリ: 8GB程度(詳しくはお問い合わせください) 通信速度: 10Mbps 以上(ブロードバンド推奨) 通信障害が多く発生する際、受講者が新しい機器を整備できなければ受講継続ができなくなる 場合があります。
申し込み方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込み書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。
	②本人が「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ直ちに連絡し、ハローワークで受付された受講申込書をご提出ください。
受講給付金	一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金が支給されます。詳しくは、住所管轄のハローワーク窓口にお尋ねください。

ハローワーク受付後の受講申込書提出先		選考について	
提出先住所と宛先	〒 220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1丁目2-13 横浜西共同ビル6F パソコンスクールアビバ 横浜校	選考日	令和7年5月29日(木)
		選考方法	オンライン面接
提出方法	郵送	選考結果発送日	令和7年6月3日(火) 郵送
お問い合わせ先	電話番号 0120-871-170	注意事項	選考の際、スマートフォンやタブレットでの参加はご遠慮ください。 パソコンからの参加をお願いします。
	担当 矢島		
受付時間	10:00 ~ 19:00		

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 株式会社リンクアカデミー

(様式A-9)

訓練の種別	☐	基礎コース ()				就職を想定する職業・職種					
	☒	実践コース (02 IT分野)									
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)		☐	託児サービスコース		☐	短時間訓練コース			
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給 を希望する場合に「○」を記入		☐	「情報通信機器整備奨励 金」の支給を希望する場 合に「○」を記入		☐	「職場見学等促進奨励 金」の支給を希望する場 合に「○」を記入			
訓練科名	初歩からはじめるJavaプログラマー養成科(eラーニングA)						Javaプログラマー				
募集期間(予定)	令和7年4月25日 ~ 令和7年5月20日										
選考日(予定)	令和7年5月29日										
選考方法	☒	面接		☐	筆記試験	☐	その他 ()				
選考結果通知日	令和7年6月3日										
訓練期間	令和7年6月19日 ~ 令和7年9月18日 (3 か月) (訓練日数 92 日)										
訓練時間						訓練定員	8 名				
訓練対象者の条件	①育児・介護中の者、②居住地域に訓練実施機関がない者、③在職中の者等、訓練の受講にあたり特に配慮を必要とする者、④自宅にパソコン等の情報通信機器を備え、通信費の負担をできる者、パソコンの基本操作(文字入力・キーボード操作)ができる者										
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業者		☐	ニート等の若者	☐	障害者	☐	母子家庭の母等		
	☐	被災者		☐	外国人	☐	その他 ()				
訓練目標 (仕上がり像)	ソフトウェアプログラマーとしてJavaを用いてアプリケーションの制作・運用の基本作業ができるようになる。										
訓練修了後に取得 できる資格	名称 ()			認定機関 ()			☐	任意受験			
	名称 ()			認定機関 ()			☐	任意受験			
	名称 ()			認定機関 ()			☐	任意受験			
	名称 ()			認定機関 ()			☐	任意受験			
	名称 ()			認定機関 ()			☐	任意受験			
①IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)							☐				
②WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)							☐				
③DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)							☐	○			
訓練内容	訓練概要	Javaの基本コーディングと実践的成果物作成、アプリケーションの制作と運用に関する知識・技能を習得できる。【eラーニングコース・オンライン対応コース・DSS対応】									
	学 科	科目		科目の内容				訓練時間			
		安全衛生		情報機器作業における健康管理				1時間			
		Java環境設定概論		Javaの歴史や学ぶメリット、AI活用方法から開発環境の構築の知識				6時間			
		就職支援		履歴書・職務経歴書の作成知識				2時間			
	成績考査		中間考査、修了考査				3時間				
	実 技	Javaプログラミング演習		コーディング規約に沿ったコード作成、詳細設計書からのコード作成、作成したコードのデザインレビュー、コード修正とプログラミング、論理・データの確認不具合の修正(使用言語:Java)				75時間			
		Webアプリケーション基本設計演習		要求分析、要求定義、インターフェースの仕様検討、セキュリティ機能に関する要求定義、要求定義に基づくアプリケーションの検討、アプリケーションの設計、インターフェースの設計、基本設計書に基づくソフトウェア構造・処理内容の検討、システム構造設計				79時間			
		Webアプリケーション詳細設計演習		プログラム仕様設計、ソフトウェア詳細設計書作成、詳細設計書の検証、テスト方針の検討、単体テスト、システムテスト				89時間			
	企業実習		☒	実施しない		実施する		※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみに記入してください。			
職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】		企業から求められる人材像・スキル面・雇用状況・株式会社リンクアカデミー				3時間			
		【職業人講話】		プログラマーに求められる人材とは:株式会社リンクアカデミー				3時間			
訓練時間総合計 (うち通所訓練時間計 0時間)		261時間		学科	12時間	実技	243時間	企業実習	0時間	職場見学等	6時間
※うち数は通所訓練を含むeラーニングコースに限り記載											
受講者の負担する費用		教科書代				0円		合計			0円
		その他 ()									
		備考 (通信費実費)									
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)		全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する				☒	eラーニングコース			
			オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)				☒	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)			
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫		科目内の動画コンテンツを学習しながら実際の処理を進めていくことができ、より精度や時間を短縮して習得することができる。								
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫		初心者でも訓練を受けることによって段階的に出てくる質問等を随時受け付け。									

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成のうえ提出してください。

※2 様式第6号の「推奨訓練日程計画表」を添付してください。

※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。

※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。

※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。

※6 「オンライン計」については、80時間算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間数を計上して下さい。